

陳情 4 - 7 (写)

国民健康保険料の負担軽減を求めることについての陳情

陳情趣旨

国民健康保険料が連続して引き上げられています。2022年度から未就学児の均等割は2分の1の減免制度となりましたが、年収400万円で夫婦・就学児2人の4人世帯では保険料年額52万5,146円と前年度より1万70円の値上げとなり、所得に占める割合は19.03%です。やはり高すぎます。

また、保険料の滞納世帯は、2021年度で24.4%と4分の1弱に上り、保険料が払えないという現実からも、保険料負担の過酷さが読み取れます。

保険料の滞納世帯がこれほど出るような現状やこの2年に及ぶコロナ禍で営業・雇用・暮らしの厳しさが続いている状況の下で、保険料を引き上げるべきではないと考えます。

毎年、保険料が通知されるたびに、加入者から払えない、「払ったら生活を維持するのに困難になる」等の悲鳴の声が上がっています。その声は年々増えるなど深刻さは増しています。

高すぎる国民健康保険料の負担軽減の施策をとってください。また、保険料軽減のための抜本的改善として、全国知事会が要望しているように「1兆円の公費負担」が求められます。台東区においても国や都に財政支援を求め続けてください。

下記の陳情項目の実現を求めます。

陳情項目

- 1、高すぎる国民健康保険料の負担軽減の施策をとってください。
- 2、保険料の抜本的改善と均等割を軽減するための財政措置を国・都に求めてください。
- 3、子どもの均等割保険料の軽減は18歳までとするよう国に求めてください。
- 4、国民健康保険法の第44条に基づく減免適用の適用条件を拡充してください。

令和4年5月20日

台東区議会議長

水 島 道 徳 殿